

No.	大項目	中項目	小項目	質問者	ご意見・ご質問 内容	回答
1	1	2	(4)	足羽委員	<p>【臨床研修医の育成】</p> <p>臨床研修医募集定員充足率が募集定員13名に対しフルマッチングとなつての目標値達成は大変良いことであるが、臨床研修医が地方独立行政法人静岡市立静岡病院に求めるものは何が重要項目であると考えるか？</p>	<p>臨床研修の2年間は「基本的な診療科目を、実地に幅広く経験し、医師として必要な基本的な知識、技術、素養等を修得すること」を目的としています。そのため、目的が十分達成できるための研修プログラムを提供することと臨床研修医が確実に目標を達成するために院内の指導医を中心とした研修環境の2つが特に重要であると考えます。</p> <p>病院見学に訪れた医学生からも、研修先を選ぶ際に研修プログラムを重要視すること、当院を見学して特に印象に残ったこと良いと感じた点として雰囲気の良いさを多くの医学生があげています。</p> <p>当院が募集定員13人の3倍以上の40人が受験し、フルマッチした理由は、当院が研修医が主体的に選択できる研修科目を多くした研修プログラムとなっていること、指導医や上級医がチーム（屋根瓦方式）で研修医の育成を行っていること、このことが臨床研修医が求めるものに合致していたためであると考えます。</p>
2	1	4	(2)	青木委員	<p>【患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供】</p> <p>・法人評価「4」だが評価「3」が適当</p> <p>待たされているという感覚なのか、期待して待っているのか、様々な感情が待合室にはあると思います。「概ね満足」という回答が90%を上回ったことは評価できます。また花のある空間は素晴らしいと思います。接遇研修の取り組みも評価できます。</p> <p>多くの患者が来院するので、全てが満足するのは難しいです。最期は人間力が決め手になると思います。先生に少し厳しいことを言われてしよげている患者には、コメディカルの方が優しい言葉をかければ、さらに評価は高まるでしょう。また受付から会計までの所要時間は、今後AIの発達により、ますます改善されなければならないと思います。</p> <p>アンケートは、かなりの枚数を回収しているようですが、回答者の意欲により、結果はばらつきます。そこで、真剣に協力してくれる方を選定し、その方々に定期的に意見を言っていたいただくのも一つの方法と思います。</p> <p>また、診療部門が主体になっているアンケートですが、患者が良く接するコメディカル、また医療秘書などの多くの委託の職員も対象としたら如何でしょうか？駐車場から入って、出ていくまでが病院の印象ですからと思います。</p> <p>以上のことなど、現状は3と思います</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">法人評価の変更意見</div>
3	1	4	(2)	足羽委員	<p>【患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供】</p> <p>患者満足度調査を実施し、患者ニーズの把握に努めての調査の結果が、「概ね満足と回答した割合が90.6%」と目標値としていた90%を上回ることができたという内容ですが、調査の対象人数、調査対象者（外来、入院）、患者の年齢、アンケートの内容等をまとめたものを開示頂きたい。</p>	調査結果を各委員に配付させていただきました。

No.	大項目	中項目	小項目	質問者	ご意見・ご質問 内容	回答
4	2	2	(4)	足羽委員	<p>【事務部門の強化】</p> <p>対売上に対する給与費の割合が、平成27年度、38%に比べ、平成28年度は43%と増えている。</p> <p>これは、事務部門の独法化に伴う特別業務のため、人員を増加したことによるもので、業務が落ち着けばとのコメントを頂いた。</p> <p>しかし、事業報告書の2(4)を見ると、「専門性の高い事務職員を正規職員として配置」、「派遣職員から法人職員への切り替えについては概ね計画どおり実施」とある。</p> <p>これらから、「今後も増員状態のまま進んでいくもの」と感じられるが、現在の事務部門での業務に応じた人員の配置体制ならびに今後の人員計画を教えてください。</p>	<p>事務部門につきましては、足羽委員のご指摘のとおり、独法化に伴い市から独立したことにより新たな業務が増え、その中でも、人事・給与システムの導入・運用や、法人プロパー職員の採用などをより効率的に行う人事部門を独立させ、また、専門性の高い診療報酬制度への対応や病院経営改善を担当する経営部門を強化する目的で、組織を1局3課体制から2部5課体制に拡充するとともに、事務職員の増員を図った。(37人から67人に増員)。独法化に伴い必然的な業務をスムーズに安定稼働するため、当初は一時的な増員も行っている。</p> <p>また、中期計画に従い、市からの派遣職員をプロパー職員へ順次切り替えていく必要もあり、それと同時にプロパー職員への引継ぎも確実に行う必要がある。しかしながら、人件費の増加は病院経営に影響を及ぼすことから、事務の執行状況を勘案しながらまずは人員の適正化を図り、そのうえで、事務の合理化にも取り組み、適正な人事管理を行ってまいります。(66人→60人)</p> <p>病院を取り巻く環境の変化は激しく、診療報酬改定、患者動向の変化、働き方改革、病床機能の見直しなど、常にその時の状況に柔軟に対応できる組織体制づくりも必要であり、適正な配置を考慮し、そのうえでスリム化を図っていく。なお、当初66人体制から60人体制に戻す計画は内部的にはあり、これに沿ったスリム化を検討していく。</p>
5	2	2	(4)	村上太郎委員	<p>【事務部門の強化】</p> <p>医療職の安定確保による医師の増員、7対1看護配置に向けた看護師の増員を実施した一方で、管理間接人員等、合理化推進による、総人員数削減の計画はないのか？</p> <p>一般企業では、合理化などによる人員削減は常識であり、独法化された病院においても、人員削減に取り組む必要があるのではないかと。</p>	<p>事務部門につきましては、独法化に伴い市から独立したことにより、人事・給与システムの導入・運用や、法人プロパー職員の採用などを行う人事部門を独立させ、また、専門性の高い診療報酬制度への対応や病院経営改善を担当する経営部門を強化する必要があったことから、組織を1局3課体制から2部5課体制に拡充するとともに、必要な増員を行い、急増した事務に対応しました。</p> <p>また、中期計画に従い、市からの派遣職員をプロパー職員へ順次切り替えていく必要もあることから、事務の執行状況を勘案しながら人員の適正化を図り、そのうえで、事務の合理化にも取り組み、適正な人事管理を行ってまいります。</p>

No.	大項目	中項目	小項目	質問者	ご意見・ご質問 内容	回答																																				
6	3	1	(1)	足羽委員	<p>【安定的な経営の維持】</p> <p>平成28年度決算には、法人移行を契機に実施した会計処理方法の変更等により、臨時的な収益（非資金）が計上されているが、その臨時的要因を除いた代表的な指標として、総収支比率100.7%、経常収支比率100.1%、医業収支比率96.0%との結果になっている。この3つの指標の結果について、地方独立行政法人に移行した初年度の結果としては、全国で移行した地方独立行政法人と比べて、どの位なのか？（全国平均値など比べ）</p>	<p>平成29年4月1日現在の公営企業型地方独立行政法人は53法人ございますが、そのうち各年度の4月1日移行した法人（各年度10月1日に移行した法人は対象外とした）で、かつ移行初年度の財務諸表が公表されている38法人について調査したところ、総収支比率、経常収支比率、医業収支比率の平均値はそれぞれ102.6%、103.3%、93.7%で、当院の指標を平均値と比較しますと、総収支比率、経常収支比率は下回っておりますが、医業収支比率は上回りました。</p> <p>しかしながら、診療報酬制度は公定価であり2年に1回改定されるなど、移行初年度の診療報酬制度がそれぞれ異なることから単純に比較することができないと考えており、H28決算について、他法人のH28決算公表後に比較・分析していく予定であります。</p> <table border="0"> <tr> <td>H17.4.1</td> <td>1法人</td> <td>H23.10.1</td> <td>1法人</td> </tr> <tr> <td>H18.4.1</td> <td>2法人</td> <td>H24.4.1</td> <td>5法人</td> </tr> <tr> <td>H19.4.1</td> <td>1法人</td> <td>H25.4.1</td> <td>3法人</td> </tr> <tr> <td>H20.4.1</td> <td>2法人</td> <td>H26.4.1</td> <td>5法人</td> </tr> <tr> <td>H21.4.1</td> <td>4法人</td> <td>H26.10.1</td> <td>1法人</td> </tr> <tr> <td>H21.10.1</td> <td>1法人</td> <td>H27.4.1</td> <td>1法人</td> </tr> <tr> <td>H22.4.1</td> <td>10法人</td> <td>H28.4.1</td> <td>6法人(当院含む)</td> </tr> <tr> <td>H22.10.1</td> <td>1法人</td> <td>H28.10.1</td> <td>1法人</td> </tr> <tr> <td>H23.4.1</td> <td>7法人</td> <td>H29.4.1</td> <td>1法人</td> </tr> </table>	H17.4.1	1法人	H23.10.1	1法人	H18.4.1	2法人	H24.4.1	5法人	H19.4.1	1法人	H25.4.1	3法人	H20.4.1	2法人	H26.4.1	5法人	H21.4.1	4法人	H26.10.1	1法人	H21.10.1	1法人	H27.4.1	1法人	H22.4.1	10法人	H28.4.1	6法人(当院含む)	H22.10.1	1法人	H28.10.1	1法人	H23.4.1	7法人	H29.4.1	1法人
H17.4.1	1法人	H23.10.1	1法人																																							
H18.4.1	2法人	H24.4.1	5法人																																							
H19.4.1	1法人	H25.4.1	3法人																																							
H20.4.1	2法人	H26.4.1	5法人																																							
H21.4.1	4法人	H26.10.1	1法人																																							
H21.10.1	1法人	H27.4.1	1法人																																							
H22.4.1	10法人	H28.4.1	6法人(当院含む)																																							
H22.10.1	1法人	H28.10.1	1法人																																							
H23.4.1	7法人	H29.4.1	1法人																																							
7	3	1	(2)	村上太郎委員	<p>【収入の確保、費用の節減】</p> <p>看護配置の変更などによる診療報酬の増額により、28年度の収入は増加していますが、一方で外来患者数は減少しています。基本目標に一定の評価をしている中で、外来患者数の減少要因をどの様に分析されているのでしょうか。</p>	<p>外来患者数の減少について、平成27年度と平成28年度を比較すると、5,830人、2.02%減少しております。</p> <p>市内の公的8病院においても、外来患者数は全体で1.38%減と、当院と同様に減少傾向にあります。</p> <p>なお、国策として病院と診療所の役割分担の明確化が掲げられている中、平成28年度の診療報酬改定により紹介状なしの患者様が減少したことも理由の一つと考えております。</p> <p>※平成28年度診療報酬改定で、一般病床500床以上の地域医療支援病院の初診時選定療養費は、医科は5,000円以上、歯科は3,000円以上が責務となりました。</p> <p>当院も4月1日より紹介状のない患者様に対しては、医科5,400円（税込）、歯科3,240円（税込）の初診時選定療養費を頂くこととしております。</p>																																				